

ルリイトトンボ

Enallagma boreale circulatum Selys

【選定根拠】 a 分布域の一部で個体数が減少

【形態】 腹長25～32mm、後翅長19～25mm。ややがっしりした中型イトトンボ。オスは成熟するとあざやかな青色となる。

【分布】 北海道と本州(岐阜県と福井県の県境以北)分布。

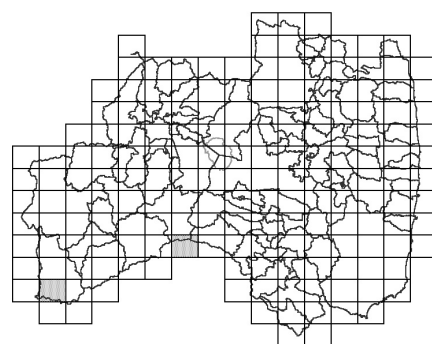
【県内の分布、生息状況】 尾瀬とその周辺の湿地および下郷町鏡ヶ沼に生息する。

【生息に影響を与えている要因】 湿地開発 遷移進行

【主要文献】

朝比奈正二郎(1954)尾瀬ヶ原の蜻蛉類。尾瀬ヶ原総合学術調査報告, 758-768.

藤田昌稔(1949)鏡沼にルリイトトンボ。昆虫ト, 2(5): 14.



ナゴヤサナエ

Stylurus nagoyanus Asahina

【選定根拠】 a 分布域の一部で個体数が減少

【形態】 腹長42～47mm、後翅長33～37mm。メガネサナエに酷似したやや大型のサナエトンボ。体色は黒地に黄色い条斑がある。

【分布】 本州、四国、九州に分布するが、いずれの地域でも産地はきわめて局地的である。

【県内の分布、生息状況】 梁川町の広瀬川、いわき市鮫川河口、郡山市谷田川での記録があるが、現在確実に生息しているのは、郡山市のみである。

【生息に影響を与えている要因】 河川改修

【特記事項】 本種は川底が砂地を好むため、このような河川環境の保全が望まれる。

【主要文献】

横井直人(1991)ナゴヤサナエ成虫の生息を福島県北部で確認。月刊むし, (250): 11.

横井直人(1999)福島県トンボ分布資料。ふくしまの虫, (15): 10-14.

桜井 浩(1992)福島県におけるナゴヤサナエの記録。るりぼし, (17): 7.

三田村敏正・宮畑年弘・横井直人(1992)阿武隈川流域のナゴヤサナエ。ふくしまの虫, (10): 6-8.

